

明けましておめでとうございます。

今年の干支は乙巳です。蛇は一般的にネガティブなイメージがありますが、ギリシャ神話で蛇は健康と治癒の象徴とされています。巳年である今年一年、心身ともに一層健全に過ごせる年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



「摂食嚥下委員会」も早いもので発足5年目を迎えました。患者様お一人お一人が、美味しく安全にお食事を召し上がれますよう、本年もチーム一丸となって頑張ってお参りますので、よろしくお祈りいたします。

さて今回のテーマは《誤嚥のサイン》です。



ご家族の中で「食事中にむせることが多くなった」

「食が細くなった」などの変化がみられた場合、その原因は嚥下機能の低下によるものかもしれません。嚥下機能とは、飲み込む力のことです。嚥下機能が低下すると誤嚥が起りやすくなり、誤嚥は誤嚥性肺炎を引き起こす原因になります。そこで周囲からわかる《誤嚥のサイン》を挙げてみました。

- ・食事中や水を飲むときにむせることが多くなった
- ・食事に以前より時間がかかるようになった
- ・食事中に鼻水が出る
- ・食べ物が口の中に残る
- ・食後にガラガラ声やかすれた声になる
- ・痰が絡む
- ・食事が減ってきている
- ・体重が減少してきている



上記症状に思い当たる場合は、

嚥下外来の受診をお勧めいたします。主治医にご相談ください。嚥下外来では、嚥下内視鏡検査（細い内視鏡を鼻から喉の奥に入れて、実際に食べ物を飲み込んでいる様子を観察する検査）を行います。

検査後、「症状や病態に合わせた食事形態について」や「召し上がる時の注意点」などの相談・アドバイスを行います。また必要であれば、簡単な自主練習などもお伝えいたします。

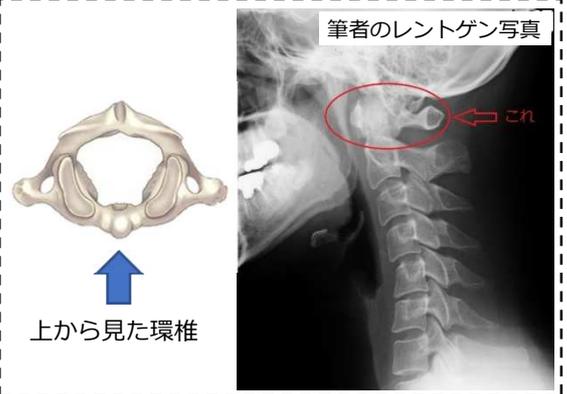


### 「天を支える者」アトラス

診療放射線技師の畠山です。摂食嚥下チームの中で放射線検査に関する部分を担当しています。今回は、診療放射線技師が語る人体の雑学を頸（首）の骨をテーマにお話しさせていただきます。

人間の頸の骨は7つありますが、1番上に乗っている骨を第1頸椎と言います。

ちょうど食べ物を摂取する口と同じくらいの高さにある椎体です。和名は環椎(かんつい)なのですがこの骨は他の椎体と形が違って輪になっているからそのような名前となっています。



そして洋名はアトラスと言います。

これはギリシャ神話に登場する力持ちの神が由来となっています。アトラスは全能の神ゼウスに戦いを挑み敗北の末、罰として永遠に天球(天空)を双肩で支えるという役割を与えられました。人体にとって重要な頭部を天球に見立て、支えている第1頸椎をアトラスという名称にしました。このような壮大な神話から名前を取ってくる西洋人のセンスの良さが伺えますね。



さて、寒に入りいよいよ寒さが厳しくなってきましたが、当院の摂食嚥下チームは寒さに負けず、皆様の摂食を支えられるよう今年も邁進して参ります。